

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「おおまちけいげつ 大町桂月さんのこと」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

皆さまは大町桂月さんをご存知でしょうか。高知県出身で、近代日本の詩人、歌人、随筆家、評論家として活躍されました。高知の有名な桂浜の月から名前をつけられたそうです。与謝野晶子さんの『君死にたまふことなかれ』の歌を強烈に非難されたことの方が有名かもしれません。実は私（住職）は全く存じ上げておりませんでした。以前、ある布教使の先生から、大正時代に刊行された『仏教大辞彙』の電子化されたものをいただいたいて、ちよつと読んでみたら、最初の序（よくある著名人が出版を祝つて文を寄せてある部分）にこの文章が載っていました。他の方はありきたりなお祝いの文章を載せていたのに、桂月さんだけは異色な（ぶつ飛んだ）文章を載せられていて、私はとても興味を持ちました。当時

### 永代経にお参りください。

## 7月6日（火）昼2時・夜7時

何度ものろんなところでお話しさせていただいた記憶があります。今回はこの文章を皆さまにご紹介したいと思います。

大町桂月氏序

#### 序

釋迦何者ぞ孔子何者ぞ、耶穌何者ぞ、天地開闢以來第一の人とならずんば男と生れたる甲斐あらんやと瘦せたる腕を扼し殺けたる肩を聳かしたりし昔を思へば唯冷汗のみぞ出づるなる我母は熱心なる真宗の信者なりき。明けても南無阿彌陀佛葬れても南無阿彌陀佛死なば極樂淨土に往生するものと信じ入りたるをまさはかなる迷信よ。開闢以來第一の人の母が如何なれば斯ばかり思なるぞやと我母を嘲りし身を恥かしけれ鳴呼愚なりき。吾不孝なりき。わが母は唯蟲が好かぬまにに佛を漫罵したる余が餘餘の放言を南無阿彌陀佛と聞き流し人情の忍び難きことをも南無阿彌陀佛にて忍び不辛重りても南無阿彌陀佛難船に遭ひても南無阿彌陀佛殊に病んで死なむとす

#### 序

釈迦何者ぞ、孔子何者ぞ、耶穌何者ぞ、天地開闢以來第一の人とならずんば、男と生れたる甲斐あらんやと、瘦せたる腕を扼し、殺げたる肩を聳かしたりし昔を思へば、唯冷汗のみぞ出づるなる。我母は熱心なる真宗の信者なりき。明け

なる迷信よ、開闢以來第一の人の母が、如何なれば斯ばかり愚なるぞやと、我母を嘲りし身こそ恥かしけれ。鳴呼愚なりき。否、不孝なりき。わが母は、唯蟲が好かぬままに、仏を漫罵したる余が酔余の放言を南無阿彌陀仏と聞き流し、人情の忍び難きことをも南無阿彌陀仏にて忍び、不幸重なりても南無阿彌陀仏、難船に遭ひても南無阿彌陀仏、殊に病んで死なむとするに臨みても南無阿彌陀仏、いざさらば、如来の御膝元へとて、笑つて此世を去りたりき。鳴呼わが母は、親鸞聖人の御陰にて、一生を安らかに且つ清らかに送りたりし也。余が頑愚の夢、始めて覚めたり。如何なれば、母の生前、早くそれと悟らざりしぞ。げにや、孝行したき時には親はあらず。母死して不孝の子、ここに仏の難有さを知る。鳴呼遅かりき、遅かりき。単に我國の文学美術歴史風俗を知らむとするにしても、仏

るに臨みても南無阿彌陀佛いざさらば如来の御膝元へとて笑つて此世を去りたりき鳴呼わが母は親鸞上人の御蔭にて一生を安らかに且つ清らかに送りたりし也。余が頑愚の夢、始めて覚めたり。如何なれば、母の生前、早くそれと悟らざりしぞ。げにや、孝行したき時には親はあらず。母死して不孝の子、ここに仏の難有さを知る。鳴呼遅かりき、遅かりき。単に我國の文学美術歴史風俗を知らむとするにしても、南無阿彌陀佛難船に遭ひても南無阿彌陀佛殊に病んで死なむとす

大町桂月  
大正三年初夏

教を解せずんばその一半を解する能わざるものをと、つくづく思ふ今日此頃、仏教大辞彙の出版は、余に取りて、地獄に仏とまでにはあらずとも、渡りに舟の感なしとせず。亡き母の忍ばれて、耳に残る母の口癖をそのままに、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。 大正三年初夏

- ・辞彙……字引、字典
- ・耶蘇……イエス・キリスト
- ・漫罵……やたらにのしること
- ・酔余……酒に酔ったあげく
- ・げにや……本当にまあ

桂月さんは高知でも優秀で東京大学に行かれたほどですし、いつでもただお念仏を申されていたお母さまのことを馬鹿にしていたのでしょね。私も偉そうに皆さまの前で法衣を着てお念仏申させていたでいておりますが、もしお寺に生まれてなかつたら、きっと「何が南無阿弥陀仏だよ！」と思っていたに違いありません。「お前みたいな奴はお寺の子に生まれさせるしか方法がないな」ということでお寺に生まれてきたのでしょね。桂月さんがお母さんの口癖の「なまんだぶ」を思い出して偲びながらご自身もお念仏申されたように、皆さまも亡きご両親やご先祖がお仏壇でお念仏申されていたお姿を思い浮かべて、このたびの永代経の法要に是非ともお参りください。何度も夜座をやめようかと思いましたが、前

住職の「夜しかお参りできない方もいる」という言葉を思い出し、今年も夜座を設定させていただいております。お蠟燭代も永代経では頂戴いたしませんので、皆さまお楽にお参りくださいね。また、永代経の御膳米（御仏供米）の袋を同封しております。お参りの際にご持参くださいませ。また、昨年はできなかった本納骨を今年はさせていただきますので、七回忌をお迎えになられたご門徒さまには書類を同封させていただいております。よろしくお願いいたします。

日	14時〜	19時〜
6日 (火)	速夜 佛説無量寿経 四十八願 法話二席	初夜 新制 佛説観無量寿経 法話一席
	本納骨法要	

### 「スライドショー作ります」

昨年の前々住職五十回忌と前住職の七回忌の時に、スライドショーを作って皆さまに見ていただきました。まだご覧になつてない方がいらつしゃいましたら是非ご覧ください(QRコード)。

最近はコロナ禍もあり、年忌法要の簡略化が進んで、親類縁者が集まることも少なくなりました。亡き方を偲んで、このようなスライドショー



法要スライドショー

を作りますが、過去の写真を捨てたり埋もれさせ

たりしてしまふより、選り抜きの写真を集めてスライドショーにすれば、いつでもスマートフォンなどでも見られて思い出すことができます。興味のある方は住職にご相談ください。写真のデジタル化だけでも承ります。葬儀会社が作るものよりは良いものが作れると勝手に思っております。

### 「お知らせいろいろ」

#### 敬弔

令和三年五月二十四日  
釋香順 石橋アイ子様 (上真砂)

生前のご功勞を偲び心より哀悼の意を表します。

#### パソコンを買いました。

このたび、平成25年に購入し、8年間毎日使っていたパソコンを新しいもの買い替えました。これまでは住職個人で買ったものを寺報制作や会計業務などのお寺の法務でも使っておりましたが、今回はお寺からも購入資金の一部(5万円)を出していただくことにいたしました。ご了承くださいますようお願いいたします。

住職携帯 090-8967-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時!